

# エル・ネット「オープンカレッジ」 NEWS

発行: 高等教育情報化推進協議会 東京都港区虎ノ門1-17-1視聴覚ビル内 FAX: 03-3595-1297 URL: <http://www.opencol.gr.jp>

## 平成17年度放送予定&平成16年度エル・ネット「オープンカレッジ」モデル事業報告

平成17年度の放送予定は5月より平成16年度の講座を再放送いたします。今後の講座開催等の参考にしてください。また、平成16年度に実施されたモデル事業(以下の4地区)の主な事業内容を報告します。4つのモデル事業は、それぞれ違った取り組みが展開されていますが、エル・ネット「オープンカレッジ」講座の活用のポイントは同じ点にあるようです。なお、4つのモデル事業のうち、北海道、大阪市、広島県は、昨年度に引き続いてモデル事業を実施していますので、昨年度発行の『エル・ネット「オープンカレッジ」News (Vol.17)』も、あわせてご覧ください。

### ◆モデル事業委嘱先

○北海道立生涯学習推進センター／○千葉県我孫子市生涯学習センター○大阪市教育委員会事務局市民学習振興課／○広島県立生涯学習センター

## エル・ネット「オープンカレッジ」放送予定 (5月~7月)

### 5月

月	火(10:00~)	水(10:00~)	木(10:00~)	金(10:00~)	土(15:00~)	日
2	3	4	5	6 常盤大学 子どもの心理(H16)	7 北海道医療大学 お口の健康セミナー(H16)	8
9	10 富山県立大学 海をめぐる人と環境(H16)	11 東京学芸大学 特別支援教育の基礎的理解(H16)	12 上智大学 ケアの思想(H16)	13 常盤大学 子どもの心理(H16)	14	15
16	17 富山県立大学 海をめぐる人と環境(H16)	18 東京学芸大学 特別支援教育の基礎的理解(H16)	19 上智大学 ケアの思想(H16)	20	21 名古屋産業大学・名古屋経営短期大学 続・カラーセラピーの世界をのぞいてみよう(H16)	22
23	24 東北芸術工科大学 eポートフォリオ入門(H16)	25 京都光華女子大学 高齢期における自立と自己決定(H16)	26	27	28 名古屋産業大学・名古屋経営短期大学 続・カラーセラピーの世界をのぞいてみよう(H16)	29
30	31 東北芸術工科大学 eポートフォリオ入門(H16)	1	2	3	4	5

### 6月

月	火(10:00~)	水(10:00~)	木(10:00~)	金(10:00~)	土(15:00~)	日
30	31	1 琉球大学 琉球芸能の世界(H16)	2 佛教大学 能の歴史と文化(H16)	3 広島大学 物質の世界(H16)	4 千葉大学 薫(わら)を燃やしたら笑われる(H16)	5
6	7 山梨大学 発達学中級と教育実践学 中級(H16)	8 琉球大学 琉球芸能の世界(H16)	9 佛教大学 能の歴史と文化(H16)	10 広島大学 物質の世界(H16)	11 千葉大学 薫(わら)を燃やしたら笑われる(H16)	12
13	14 山梨大学 発達学中級と教育実践学 中級(H16)	15 北海道教育大学 サハリンとロシア極東の 美術家たち(H16)	16 徳島大学 阿波踊りを学ぶ(H16)	17 八戸大学 地域社会とGIS(地理 情報システム)(H16)	18 岐阜大学 自然と人間の関係を考 える(H16)	19
20	21 群馬県立女子大学 「群馬」を知る(H16)	22 北海道教育大学 サハリンとロシア極東の 美術家たち(H16)	23	24 八戸大学 地域社会とGIS(地理 情報システム)(H16)	25 岐阜大学 自然と人間の関係を考 える(H16)	26
27	28 群馬県立女子大学 「群馬」を知る(H16)	29	30	1	2	3

### 7月

月	火(10:00~)	水(10:00~)	木(10:00~)	金(10:00~)	土(15:00~)	日
27	28	29	30	1 創価大学 日常生活の人間学 (H16)	2 松山東雲女子大学 子どもと現代家族 (H16)	3
4	5 女子美術大学 絵画・版画の理論と制作 (H16)	6 新潟大学 腎臓病の病気(H16)	7 島根・佛教大学 持続可能な地域再生の理 論と実践(H16)	8 創価大学 日常生活の人間学 (H16)	9 松山東雲女子大学 子どもと現代家族 (H16)	10
11	12 女子美術大学 絵画・版画の理論と制作 (H16)	13 新潟大学 腎臓病の病気(H16)	14 島根・佛教大学 持続可能な地域再生の理 論と実践(H16)	15 久留米信愛女学院短大 子どもと「食育」(H16)	16 滋賀医科大学 わかりやすい心臓病治療 最前線(H16)	17
18	19	20	21 島根・佛教大学 持続可能な地域再生の理 論と実践(H16)	22 東洋大学 21世紀の保健・医療・福 祉を考える(H16)	23 滋賀医科大学 わかりやすい心臓病治療 最前線(H16)	24
25	26	27	28 島根・佛教大学 持続可能な地域再生の理 論と実践(H16)	29	30 山梨県立女子大学 東南アジアの幼稚園・保 育園(H16)	31

## 「パッケージ化教材」 を作りました！

北海道立生涯学習推進センター

エル・ネット「オープンカレッジ」講座の録画テープを、単に受講者に視聴してもらうのではなく、よりよい形で幅広く活用していくと「パッケージ化教材」を作りました。「パッケージ化教材」の中身は、講座の録画テープ、補助資料(参加者用)、解説マニュアル(講座主催者用)、「解説マニュアル」活用事例テープ、の4点です。今年度は、モデル事業として、岩手大学と群馬県立女子大学の講座(2003年度収録講座)の録画テープを活用した学習講座を開催し、「パッケージ化教材」の開発と、その有効性を検証しました。

「パッケージ化教材」のうち、補助資料とは、講座の録画テープとエル・ネットから提供されているテキストを補足・発展させるために、独自に作成した受講者用の補助資料です。昨

年度のヒアリング調査からの意見を参考に、読みやすい大きな文字にするなど、さまざまな工夫がなされており、受講者には大変好評でした。解説マニュアルとは、学習支援者が解説を行う時のモデル的な流れを示したマニュアルです。学習支援者とは、受講生の学習意欲をさらに高めるため、録画テープによる講義を補助する役割を担う方で、最近はその重要性や必要性が注目されています。今回は、社会教育主事が学習支援者を務めました。今後は一般市民の学習者が学習支援者を務めることも考えています。

「解説マニュアル」活用事例テープとは、実際に行われたモデル事業の様子を録画し、学習支援者が解説している様子がわかるよう編集したものです。講座主催者や学習支援者が、講座のイメージをつかみ、自分なりに学習支援のあり方を

「等本の短歌、賢治の短歌」解説の進め方  
北海道立生涯学習推進センター

解説の時間	解説の内容
■ 前年録音時間 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 解説者の自己紹介と解説者と等本や賢治との関わりについて話し、「共に学びましょう」と学習への動機づけを行う。</li> <li>● 「賢治の魅力、賢治の魅力」という3回・10分収録の3回録音であること、1回録音、2回録音の順番(等本に関する部分)を補助資料を用いて説明する。</li> <li>● 3回録音「賢治の魅力、賢治の魅力」の最後は「賢治の短歌の4つの特徴」について、講師が解説しているため、テキストと補助資料を参考に復習しようとする。</li> <li>● 補助資料に必ず「賢治の短歌の4つの特徴」について確認し、確認説明する。</li> </ul>
■ 今年録音時間 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2回録音、2回録音の順番(賢治に関する部分)を補助資料を用いて説明する。等本との関わりについてもエピソードなどを用いて説明する。</li> <li>● 3回録音「賢治の魅力、賢治の魅力」の最後は、「賢治の短歌の4つの特徴」について講師が解説しているため、テキストと補助資料を参考に復習しようとする。</li> <li>● 4回録音「賢治の魅力、賢治の魅力」の最後の紹介とビデオ視聴による学習を進める。</li> <li>● 5回録音「賢治の魅力、賢治の魅力」の最後は、「賢治の魅力」のお礼を述べ、解説を終える。</li> </ul>
■ 今年録音時間 15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2回録音、2回録音の順番(賢治に関する部分)を補助資料を用いて説明する。等本との関わりについてもエピソードなどを用いて説明する。</li> <li>● 3回録音「賢治の魅力、賢治の魅力」の最後は、「賢治の短歌の4つの特徴」について講師が解説しているため、テキストと補助資料を参考に復習しようとする。</li> <li>● 4回録音「賢治の魅力、賢治の魅力」の最後の紹介とビデオ視聴による学習を進める。</li> <li>● 5回録音「賢治の魅力、賢治の魅力」の最後は、「賢治の魅力」のお礼を述べ、解説を終える。</li> </ul>



学習支援者

考えるための補助的な役割を果たします。

今回は、岩手大学講座(4回分)のパッケージ化教材を、市町村で実施する生涯学習講座や、住民が自主的に企画・運営する事業で活用できるよう広報し、貸出を開始しました。また、ライブラリー事業としては、これまでの録画テープの延べ貸出本数が約120本、延べ利用者数が約650名あり、エル・ネット「オープンカレッジ」の普及事業としても効果が期待されます。

今後は、一般住民が学習支援者として活躍できるように、学習支援者養成プログラムを開発することや、参加者同士が自主交流できるような学習プログラムの開発が必要になってくると考えています。

## 公民館事業「長寿大学」 と連携して実施！

千葉県我孫子市生涯学習センター

我孫子市では、公民館事業として高齢者を対象とした「長寿大学」(4年制)を実施しています。そこで、この長寿大学の臨時カリキュラムの一つとして、エル・ネット「オープンカレッジ」の講座を活用しました。活用講座は、創価大学講座「日常生活の人間学」『日常生活と健康～運動そして食生活』



受講風景

(1月20日放送)を選択しました。現在、高齢者にとって「健康」は最大の学習テーマとなっています。特に、我孫子市は、高齢化率が約16%となり、今後も高齢化が進行していくことが予想されているため、高齢者の生活や健康問題などの学習ニーズに応えていく必要があります。

事業を実施するにあたって、長寿大学の4年生には長寿大学の授業で、また、一般市民には、広報誌やポスター・チラシ、ホームページなどで周知をしました。会場は、我孫子市生涯学習センターアピスタ内にある我孫子地区公民館のミニホールです。大きなスクリーンや音響の良い設備で、臨場感のある場を作り出しました。1月20日の当日は、52名(うち、一般受講者は11名)の受講生が集まりました。最初にエル・ネット「オープンカレッジ」の講座を視聴、講座の所々でコーディネーターが解説を行い、最後にコーディネーターの進行で受講者同士の意見交換も行いました。講師に対しての質問については、質問用紙に記入してもらい、後日質問者に回答することとし



受講風景

ました。

受講者のアンケートでは、講義について「わかりやすかった」が91%、オープンカレッジを「再受講したい」が96%などで、好評を得たようです。一方、「2時間という受講時間が長く、集中力が続かない」、「提供されているテキストだけでは足りない」、「場内を暗くしすぎるとメモが取りにくい」などの意見も寄せられ、今後の改善点も明らかになりました。

高度で専門的な講義を受講できる機会として、今後、他の学級や講座にも活用するために、よりよい講座の開発やライブラリーの整備などを検討しています。



## エルネット・サロン で学ぶ！

大阪市教育委員会事務局市民学習振興課

大阪市では、2つの柱で事業を実施しました。1つは、生涯学習ルームでの学習会です。大阪市は、小学校を拠点にして、地域の生涯学習を活性化するために生涯学習ルーム（296校）を開設しています。その生涯学習ルームで、エル・ネット「オープンカレッジ」講座を活用してもらおうと、生涯学習推進協議会の区代表者会議へ働きかけました。

活用講座としては、小学生をもつ親にニーズの高そうな講座として、久留米信愛女学院短期大学講座「親子の読み聞かせ～子どもの心に金の鈴を～」と「幼児期は耳の時代～語る喜び、聞く喜び」（2002年度収録講座）を選びました。

その結果、4つの小学校（東都島小

学校・豊新小学校・本田小学校・日吉小学校）で、PTAや絵本読み聞かせサークルが中心となり、講座の「ビデオソフト」+「集団学習」という形で学習会が開催されました。

受講者の感想は、「とてもよかった」と「よかった」を合わせると60%を超えるなど、好評でした。自分の地域の身近な場所で受講できたことが、よかったようです。ただ、生涯学習ルームを利用している方々が、徐々に高齢化しており、若干ねらいが外れてしまったため、実施校が予定より少なくなっ

たようです。

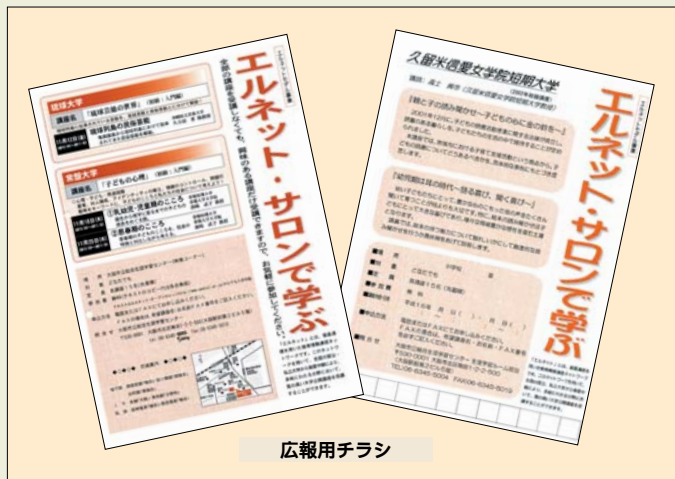
また、「ビデオソフト+集団学習」に働きかける「トータルコーディネーター」の存在が求められることも明らかになりました。

もう1つは、総合生涯学習センターでの学習会です。ここでは、常盤大学、琉球大学、久留米信愛女学院短期大学、東京学芸大学の今年度の講座を実施しました。

今後は、引き続き生涯学習ルームでの活用を進めていくとともに、「トータルコーディネーター」の養成にも力

を入れていきたいと考えています。

また、大阪市立生涯学習センターのシティカレッジ事業の高齢者大学において、エル・ネット「オープンカレッジ」の中の大学と連携した講座を組み込んでいくことも検討しています。



広報用チラシ

## 学習ボランティア 「楽々カレッジ広島」が 大活躍！

広島県立生涯学習センター

広島県では、エル・ネット「オープンカレッジ」のための学習ボランティアグループを育成し、そのボランティアグループを支援することにより、受講者のネットワークが広がっていくことを目的として、3年計画を策定しています。今年度は、その2年目です。

昨年度は、エル・ネット「オープンカレッジ」を活用する学習ボランティアを募集し、ボランティア養成講座を実施して学習活動を行いました。そして、平成16年4月に、昨年度のボランティア養成講座の受講生を中心とした学習ボランティア「楽々カレッジ広島」が発足したのです。今年度は、この「楽々カレッジ広島」が中心となって、イベントや自主企画講座の開催、広報活動が展開されました。

「楽々カレッジ広島」による自主企画講座は、5・7・9・10・1月に行われました。それぞれの講座では、エル・ネット「オープンカレッジ」講座の録画DVDの放映とあわせて、外部講師を招いての講義や、パネル展示を実施するなど、地域のニーズに応じた企画となるよう工夫されました。

講座は、テーマに関連した講師や地元ボランティアの協力などにより実施されました。開催場所は、サテライト会場である東広島市中央公民館や広島市まちづくり市民交流プラザなどで実施されました。

また、広報活動にも力を入れたため、イベントに参加した住民や施設職員から、録画テープの貸出しなどの問合せも増え、周辺地域に対するエル・ネット「オープンカレッジ」の周知にもつなりました。

また、イベントの際には、さらなる



講座風景

学習ボランティアの募集を行ったり、アンケート調査による学習ニーズの把握に努めたりしました。このような、「楽々カレッジ広島」の積極的な活動により、学習ボランティアの輪が大きく広がってきています。来年度も、すでに学習ボランティアによるイベントの開催が予定されています。今後も引き続き、学習ボランティアを中心に自主イベントを開催していくとともに、受講者層の拡大や受信・視聴スペースの効果的な活用などについて、検討していく予定です。

## ■「エル・ネット」 — 各地での取り組み

モデル事業の他にも、全国各地でエル・ネット「オープンカレッジ」講座を活用した独自の講座が開催されています。小さな工夫の積み重ねが、よりよい講座の企画・開催へとつながっていくと思いますので、今後の参考にしてください。

### エル・ネット「オープンカレッジ」を活用した講座のご紹介

#### 北海道千歳市の取り組み

北海道千歳市教育委員会では、エル・ネットを活用して市民に学習の機会を提供しようと、本年度の講座を活用して、市民教養セミナー特別講座「エルネット大学講座」を開催しました。

活用講座は、常磐大学講座「子どもの心理を学ぶ」『思春期のこころ』（11月20日）、九州産業大学「IT革新によって生活はどう変わる」『①ITと社会の変化』（12月11日）、『②IT革新の将来像』（12月18日）の3講座です。

広報誌やチラシはもちろん、新聞で取り上げてもらって周知を図りました。会場は、市民文化センター視聴覚室。放送後には、参加者が感想や意見を述べ合い、理解を深められたようです。



### 「広げよう！IT活用型生涯学習」

#### エル・ネットで3月31日以降に放送

前回のエル・ネット「オープンカレッジ」News (Vol.19) で、仙台大学講座「スポーツ科学と健康・体力づくり」を活用した千葉県船橋市の「ふなばし市民大学校」“オープン講座”をご紹介します。その事例が、エル・ネットの番組でご覧になれます。

その番組は、(財)日本視聴覚教育協会が文部科学省の委託を受けて制作した「広げよう！IT活用型生涯学習」(3月31日〈1c h〉放送予定)です。その中のひとつの事例に、「ふなばし市民大学校」“オープン講座”が取り上げられています。内容は、「市民大学校」の説明やオープン講座の実際の様子、そして講座の企画を担った学習ボランティアの活動の様子が紹介されています。学習ボランティアへのインタビューもありますので、生の声を聞くことができます。

この番組は、エル・ネットで4月以降にも再放送されます。また、教材はエル・ネットコンテンツ配信システム用にデジタルコンテンツ化され、さらに、インターネット上からもデジタルコンテンツ化した事例映像を視聴できるようになります。詳しくは、([http://www.javea.or.jp/it\\_plan/](http://www.javea.or.jp/it_plan/))をご覧ください。

「広げよう！IT活用型生涯学習」は平成14年度から実施されている「IT活用型生涯学習事業プランニング支援」事業の一環で、社会教育施設が地域の情報拠点として生涯学習事業の企画立案・運営を支援するため、講座形式の番組やデジタルコンテンツ化した実践事例を提供するものです。エル・ネットを活用した事例も多く提供されています。上記サイトから参照できますので、ぜひご覧ください。

- ◆メールマガジンを毎週水曜日に配信しています。講師・講義スケジュールや最新情報をお届けします。配信を希望される方は下記ホームページからご登録ください。
- ◆放送日及び講座内容は変更されることがあります。ご了承ください。また、天候により番組を見ることができない場合があります。
- ◆講座内容、テキスト等詳細については、下記ホームページでご確認ください。
- ◆問い合わせ 文部科学省生涯学習政策局参事官(学習情報政策担当)付 電話:03-5253-4111(内線3263.2418)

[www.opencol.gr.jp](http://www.opencol.gr.jp)